

ロータリアン——

奉仕に結束——平和に献身

ROTARIANS——
UNITED IN SERVICE-DEDICATED TO PEACE

1987-'88 年度国際ロータリーのテーマ



- 国際ロータリー会長 チャールズ C. ケラー ●第256地区ガバナー 安藤文夫
- 会長——熊倉 昌平 ●幹事——内山 辰策 ●SAA——川又嘉瑞範、婦山忠家
- 例会日——毎週水曜日12:30～ ●例会場——三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内
- 事務局——三条市旭町2-5-10 (TEL-35-3477) (TEL34-3311)
- クラブ会報委員——加藤紋次郎、平原信行、池田俊一、箱崎源伸、渡辺喜彦

出席率： 会員 64名中 47名 : 先々週出席率： 89.06% (前年同期 90.91%)

今日のお花： チューリップ、なの花

ビジター： 三条北より 羽賀一夫君、芦田義重君、今井克義君
三条南より 住谷哲雄君

ゲスト：

- 先週のメイクアップ： 1/24 群馬安中ロータリー情報セミナーへ 藤田説量君
1/25 三条南へ 外山一郎君、川又嘉瑞範君、古沢富雄君、丸山金重君、近藤雄介君、吉田 晃君、五十嵐晋三君、松谷昊吉君
1/25 柏崎東へ 松縄 弘君
1/26 三条北へ 熊倉昌平君、中川由春君、川又嘉瑞範君、五十嵐総一君、大谷幸平君、五十嵐昭一君、吉田 晃君

会長挨拶： 杉野副会長

熊倉会長、上京とのことですので代ってご挨拶を申し上げます。

今日は4名のお客様をお迎えしておりますが、ようこそおいで下さいました。

此の後、クラブアッセンブリーの予定になっておりますので、上木会計より上半期の会計報告、そして1月17日の新潟グランドホテルでの第256地区の新潟県だけのロータリー情報セミ

ナーの報告をいたします。

穏やかな新春を迎えて喜んでおりましたが、何か物足りない気持でした。やはり雪国に生まれ、育ったものに雪がないと風情もなく、新年を迎えた気がしません。大寒に入り、やっと納得しております。

暖房のきいた家の中にばかりいると、外界の条件の適応が鈍り、脳の働き、末端の機能の効きが悪くなります。

暑さには耐え、寒さと闘い、季節のリズムに合わせて元気に活躍して下さい。

以上で挨拶といたします。

幹事報告： 内山(辰)幹事

- R I 日本支局財務室より ロータリー適用相場変更のお知らせ
2月1日より 1ドル128円(現行135.60円)に変更
- 高崎北・Rクラブより 創立20周年記念式典のご案内がとどいております。
とき 3月16日(水) ところ 高崎ビューホテル 2F 3F
登録 13:30~ 登録料 1名 12,000円 登録締め切り 2月15日(月)
- 事務局へのお問い合わせは月曜~金曜までのAM9:30~PM3:00までの勤務時間内にお願ひ致します。

ニコニコBOX ¥3,000



北クラブ 羽賀一夫君 体操によって三条さんと北ロータリーの年齢の差がわかりました。

北クラブ 芦田義重君 初めてメイクアップさせてもらいます。今後共宜敷く御願ひ致します。

榎本君 今日初めてSAAを務めさせていただきました。ピンチヒッターです。御協力ありがとうございました。

クラブアッセンブリー：

・半期会計報告： 上木会計

1987年~88年度前期の会計報告申し上げます。

報告書の通りです。半期決算額がマイナス繰越残高になっておりますが、クラブ行事が前期に多くあったためと思います。

尚、本年度は支払いを10日払いのため、12月末日の預金残高と半期収支決算額とは異なっております。

スマイルBOXは半期収入が前年度年間の67%となっております。

以上の通り報告申し上げます。

・ロータリー情報セミナーの報告： 杉野クラブ奉仕委員長

国際ロータリー第256地区新潟県のロータリー情報セミナーが新潟グランドホテルで1月17日に開かれました。

出席は、会長、会長エレクトの私と山本ロータリー情報委員長、広瀬広報委員長の4人で参加しました。

今月はロータリー理解推進月間です。

此のセミナーははじめて開かれたものです。全体会場の演壇の両側にテレビが置かれて、ビデオでR I 会長チャールズ・ケラーの開会及び閉会の挨拶が映像とともに行われました。

午前中は、当地区担当の新しい指導者となられました松本南クラブの奥沢俊一さんがカウンセラーとして1回、2回と別けて、ロータリー情報、広報について講義を受けました。

R I 会長は、ロータリーについて一般の人には殆んど理解されていない、それどころかロータリーアンもロータリーを知らない人が大勢いる。1986~1987の調査の結果であるが、そのためこのセミナーを催し、勉強するという事です。

当クラブで山本委員長のもとでロータリー情報委員会が開かれて来ましたが、内容的に同じものと感じ、うけ止めて参りました。

午後は我がクラブの藤田直前ガバナーが地区のロータリー情報コーディネーターとして、グループ1の方を担当され、会長と会長エレクトとして私も指導を受けました。

講義の名調子は広く定評のあるところですが、聞いているうちにありがたさを感じ、遠い所からおいでになられた先生の様な気がして来ました。

「自分のクラブは、どういう性格かをしっかりと知ること、それから何をなすべきかを考えて、そして行動しなさい」。ロータリーの基本は親睦と奉仕だと明快な指導をなされました。

グループ2は山本ロータリー情報委員長、グループ3は広瀬広報委員長とそれぞれ出席されました。

私の報告では勉強不足を露見した様なものですので、何れ補足をお願いいたします。

・地区ロータリー情報セミナーに就いて： 直前ガバナー 藤田説量

地区ロータリー情報コーディネーターを、直前ガバナーの任務ということで不得手乍ら引受けました。

1月17日、新潟県セミナーでは、奥沢俊一カウンセラーの基調講演で、ロータリー情報の全般に涉って行届いた教育をされ、午後の分科会で、会長、会長エレクト部会で私の所信を申し述べました。

クラブ会長は、先ず所属するクラブが、何を中心として運営しているかをよく把握する必要があります。第2には何をやるべきかを考え、第3にはクラブの長所短所を自覚する必要があるという事です。

ロータリーの基本的な問題として考えるべきことは、ロータリークラブは、奉仕団体であるかどうかということですが、私の独断で申しますならば、現在のロータリークラブは、奉仕団体ではなく、奉仕を考え実行することが出来る人を育てる団体であると考えています。クラブ予算の実状を見ても、奉仕団体であると言い切るには無理があると思います。

次に4つの奉仕での基本は、クラブ奉仕であり、クラブ奉仕の基礎は、親睦であります。

ロータリーは、戦後の日本に、横型社会の交流をもたらしました。職業の異なる人と人とが、

平等に自由に交流し乍ら、他の人の長所と発想を学び合って、自己の軌道を修正し、格調を高めあうことが、クラブ運営と増強の基本であります。

ロータリーでの親睦は、只お酒を飲みあって真情を吐露しあうだけでなく、飲食をともなう社交のあり方を見直して、ユーモアや、人生の知恵を学び合う場とするための創意と工夫が必要であります。質の高い親睦を通じて個人個人の個性の確立を図り乍ら、他を顧みる心を養うことが、ロータリー情報の基礎であると考えます。

家族紹介： 広瀬昌寿会員

亭主元気で留守が良い……と最近耳にします。私共は結婚して20年になりますが、その半分以上の10数年主人は単身赴任をしております。

我が家の残留家族は主人の両親と私共の子供2人（高校生と中学生）の合計5人で新潟に居ります。

主人は性格上毎週日曜日が休みと決まっていますが、月に4～5回不定期に帰って来ま



す。主人は単身なのに太って来ているので心配です。

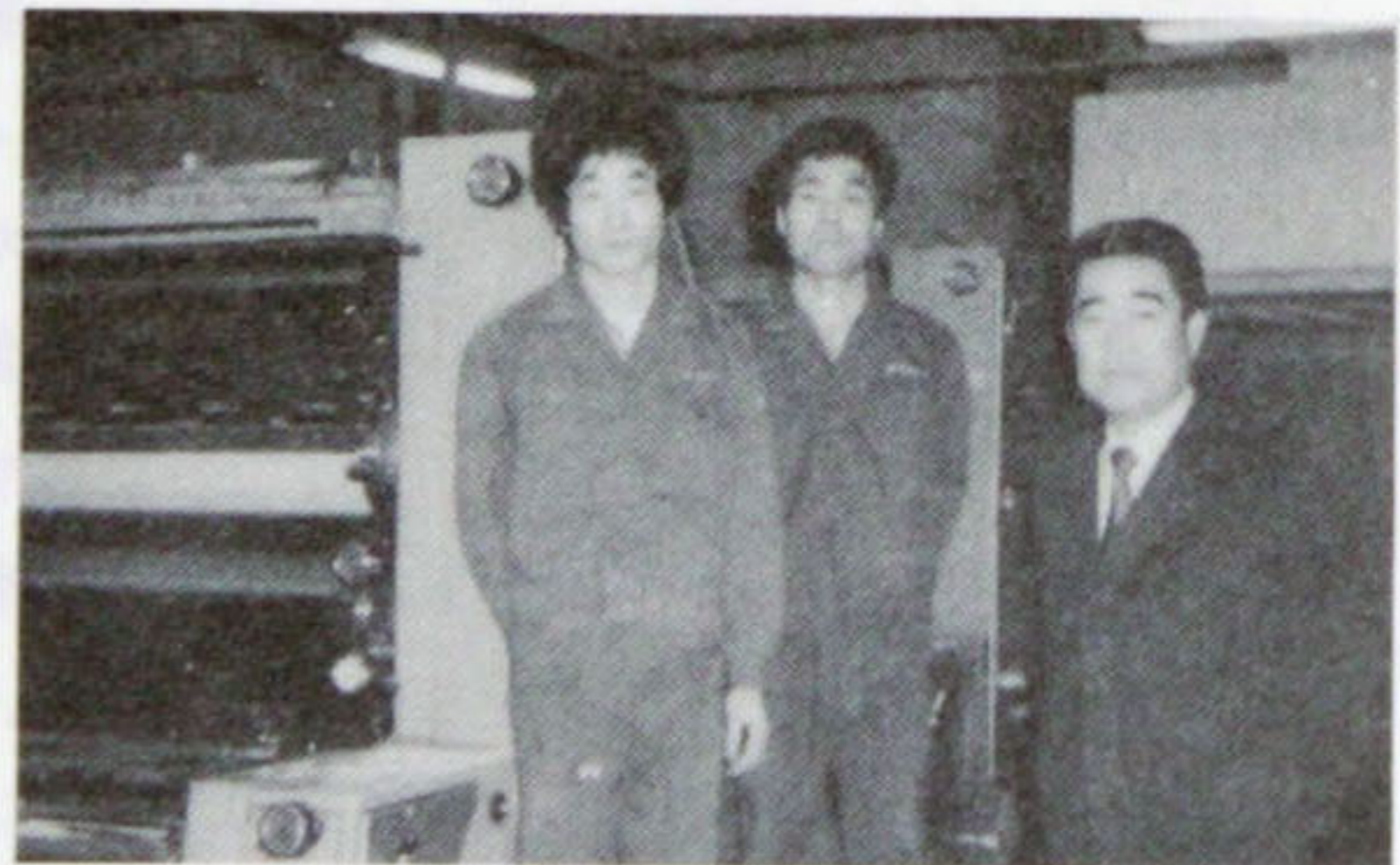
間もなく4月の転勤の時期でもあり、今まで通りか、それとも……と首を洗っているこの頃です。

（家族一同の写真と思い探しましたがありません。昨年11月家族会の時の写真です）。 広瀬 ケイ子

小林敬典会員

会社の名称は株式会社中央製版。業種は印刷、製函業と呼ぶべきでしょうか。

パンフ、カタログ、チラシ印刷が約25%、板紙と呼ばれているボール紙の印刷が70%、その他製品に印刷する特殊印刷が5%、企画、デザインから印刷、製函まで一貫生産をしております。



三条、燕の作業工具、利器工匠具、雑貨のパッケージを中心として、木製品、金属製品、樹脂製品等に対する印刷など印刷全般を取り扱っております。

次週例会 2月3日 新年会「松木屋」PM6:30～

次々週例会 2月10日 卓話 藤崎昌彦会員
